

第 9 回理事会 議事概要

1. 開催日時 2021年 2月 19 日（金） 16 時 00 分～18 時 30 分
1. 開催場所 日本専門医機構 会議室
1. 現在理事数 24 名
- 出席理事数 24 名
- 理事長 寺本 民生
- 副理事長 今村 聡（WEB） 兼松 隆之（WEB）
- 理事 浅井 文和（WEB） 有賀 徹 池田 徳彦（WEB）
- 大磯義一郎（WEB） 大川 淳（WEB） 神野 正博（WEB）
- 北村 聖 木村 壯介（WEB） 久住 一郎（WEB）
- 今野 弘之（WEB） 佐藤 慎哉（WEB） 佐藤 豊実（WEB）
- 鈴木 美穂（WEB） 富永 悌二（WEB） 富山 憲幸（WEB）
- 南学 正臣（WEB） 羽鳥 裕（WEB） 村井 嘉浩（WEB）
- 森 隆夫（WEB） 森井 英一 渡辺 毅
- ※(WEB)はWEB会議システム」利用による（「WEB会議運用規則」第2条）
1. 現在監事数 3名
- 出席監事数 3名
- 相澤 孝夫（WEB） 跡見 裕（WEB） 松原 謙二
1. 陪席者 1 名
- 新井 朋博（WEB）（日本医師会）
1. 事務局 事務局長 堀部 真人 他 （全て五十音順／敬称略）

議事次第

16 時 00 分、定刻に至り、寺本理事長より挨拶の後、出席理事定足数の確認を行い本理事会の成立を宣言し、議事を開始した。

I. 第 4 期第 8 回理事会（1月 15日開催）議事録等の確認

寺本理事長より、第 8 回理事会（1月 15日開催）の議事概要の確認が行われた。同議事録は作成中であることが報告された。

II. 協議事項

1. 専門研修プログラム委員会 協議事項

(1) 専門研修プログラム整備基準変更について（整形外科、総合診療）

北村理事より、整形外科および総合診療より申請のあった専門研修プログラム整備基準変更について説明があり、委員会で審査を行い承認されたことが報告され、承認された。

(2) 専門研修カリキュラム整備基準変更について（内科、耳鼻咽喉科）

北村理事より、内科および耳鼻咽喉科より申請のあったカリキュラム整備基準変更について説明があり、委員会で審査を行い承認されたことが報告され、承認された。

(3) 2022年度シーリングに関する専門医機構の方針について

寺本理事長より、2022年度シーリング案について、新型コロナウイルス感染症の影響により採用数に変動があるため、2021年度採用と同数値で算出することが諮られ、承認された。

(4) 年間スケジュールについて

北村理事より、2021年専門研修開始予定のプログラム・専攻医登録関連スケジュール(案)について説明がなされた。今回より、専門研修プログラム申請スケジュールを前年より1か月前倒しすること、また専攻医応募は11月の開始予定であることが諮られ、承認された。

2. 専門医認定・更新委員会 協議事項

(1) 専門医更新二次審査について(臨床検査・整形外科)

大川理事より、機構認定の専門医更新学会における1次審査に合格した臨床検査専門医(64名)および整形外科専門医(1,510名)について、委員会での2次審査の結果が報告され機構認定専門医として承認された。

(2) 専門研修修了から認定試験までの流れについて

大川理事より、専攻医の研修修了から認定試験までの流れ(案)の説明がなされた。専門研修修了証明書及び専門研修修了認定証の案が諮られ、希望に応じてシステムより発行することが承認された。

3. 総合診療専門医検討委員会 協議事項

(1) 総合診療専門医検討委員会 組織図について

羽鳥理事より、総合診療専門医検討委員会の組織図(案)が示された。認定試験実施に向け、総合診療専門医認定試験委員会を設置することが諮られ、承認された。

(2) 総合診療専門医検討委員会 運用細則について

羽鳥理事より、機構の委員会規定に則した総合診療専門医検討委員会運用細則案が示された。組織として部会制を規定する旨の説明があり、承認された。

(3) 総合診療専門医検討委員会 謝金規程について

羽鳥理事より、総合診療専門医検討委員会謝金規程案が諮られ、承認された。

(4) 認定試験部会 CBT業者の選定について

羽鳥理事より、2021年度総合診療専門医認定試験を実施運営する業者選定について、3社の候補が提示され、うち1社が諮られ、承認された。

(5) プログラム延長及び書類提出の猶予について

羽鳥理事より、新型コロナウイルス感染症禍によって研修の遅れが生じているため、2020年度研修修了専攻医のみ対象とした専門研修修了期日の延長、また資格審査の書類提出期限の猶予案が諮られ、承認された。

4. 総務・規約委員会 協議事項

(1) プライバシーマーク取得に関するコンサル費用について

兼松副理事長より、プライバシーマーク制度導入に際しコンサルタント業者に管理を依頼することが説明された。3社の相見積もりが提示され、うち1社について諮られ承認された。

(2) 「特定商取引法による表示」について

兼松副理事長より、電子決済を導入することが諮られ、承認された。導入に際し必須となるホームページ上での特定商取引法による表示案が示され、了承を得た。

(3) テレワーク手当および「職員給与規程」の改定について

兼松副理事長より、テレワークの手当の支給案について説明がなされた。職員給与規定で規定するため改正案が諮られ、承認された。

5. COI委員会 協議事項

(1) 2020年COI申告について

森井理事より、理事宛てに2020年度COI申告の依頼がなされた。

6. 日本専門医機構のサブスペシャリティ領域についての提案について

森理事より、サブスペシャリティ領域の認定に際し、日本専門医機構として再度明確にサブスペシャリティの在り方を示す必要があるのではないかと提案があった。寺本理事長より、大枠を示すことが重要であるとの認識が示され議論を重ねていくことが承諾された。

III. 報告事項

1. 専攻医登録採用結果について

寺本理事長より、現在までの専攻医登録者数は9,227名である旨報告があった。

2. 各種委員会報告

(1) 総務・規約委員会

兼松副理事長より、2月5日に開催された委員会の報告がされた。

(2) 広報委員会

浅井理事より、12月21日、1月18日に実施した記者会見後に掲載された記事が報告された。

(3) データベース検討委員会

稲垣理事より、1月22日に委員会を開催し、専攻医の研修施設情報（マイページ）の登録をすすめていることが報告された。

(4) 専門研修プログラム委員会

北村理事より、1月29日に開催された委員会の議事概要が報告された。

(5) 専門医認定・更新委員会

大川理事より、産婦人科領域の専門医認定において、1名ダブルカウントしており訂正したことが報告された。

寺本理事長より、「専門医の認定・更新」に関する補足説明ver9.5について説明があった。

村井理事より、専門医の更新基準のうち多様な地域における診療実績について、知事会としての意見が4点出された。寺本理事長より、議論の場を設けることが報告された。

(6) サブスペシャルティ領域検討委員会

渡辺理事より、サブスペシャルティ領域機構認定について、審査の状況について報告された。また、2月9日に基本領域との擦り合わせ会が開催されたことが報告された。

(7) 総合診療専門医検討委員会

羽鳥理事より、2月4日に開催された委員会の議事概要が報告された。

(8) 外部評価委員会

寺本理事長より、1月29日の委員会で臨時社員総会のWEB開催について議論したことが報告

された。大磯理事より、COVID-19状況下においても社員総会をWEB開催で行うには定款変更が必要であるとの意見がだされ、事務局で検討することとなった。

4. その他

(1) 次回（2月22日）定例記者会見について

浅井理事より、次回定例記者会見を2月22日に行うこと、次第内容は専攻医登録採用結果報告、2022年度シーリングに関する機構の方針についてとすることが報告された。

今後の会議予定

第10回理事会 令和3年3月19日（金）16時00分～18時00分